

「こちら「うどんタクシー」も好評



うどんとエドモの上のうどんの文字をつけた行灯を乗せたタクシー

の映画とそっくり 平のバス

タクシーの屋根に大盛り鉢と「うどん」の文字が入った行灯は映画「UDON」でおなじみ。その映画に登場したのとそっくりのタクシーが、琴平町を中心に中讃地域を走り回り、観光客らから熱視線が注がれている。

このユニークな企画でうどんのPRをしているのは、琴平バスが経営する琴平町のコトバスタクシー

(楠木哲雄社長)。第1次うどんブームのピークだった03年8月から、普通「のうどん鉢を取り付けた「うどんタクシー」(04年に商標登録可)を運行している。

行灯を取り付けて運行しているタクシーは3台。「うどんのことなら運転手に聞いて」と、客への説明がスムーズに行えるよう、自社規定の筆記・ガイド・うどん打ちの三つの試験をクリアした糸田川哲也さん(57)ら、**「麺通」**の選任ドライバー7人が交代で運転している。

ドライバーは麺通7人

「そっくりさん」の運行は、「UDON」公開後の先月末から。まだ日は浅いが、こんびら参りで訪れる観光客らから、中讃の各地区にある名店の指名があるほか、ロケ現場となった製麺所などを回るお勧めコース(2時間、8400円)などが大好評という。

今回からの映画仕様で、注目度も一段とアップ。同バスの山地博常務取締役は「プラスアルファ効果で、お客様から良かったの由が多く寄せられています」と話している。【山中博文】